

ザンビア東部州における土壌肥沃度回復と持続的農業推進のための  
アグロフォレストリーの評価  
-2008/09 年作季の進捗報告-

Sesele B. Sokotela, Mutinta J. Malambo  
ザンビア農業省農業研究所

1. で報告した野外試験地に隣接する圃場において、土壌肥沃度の回復のためのアグロフォレストリー種の展示と評価を実施している。候補となる種として *Grilicidia sepium*、*Mucuna repensis* (ハッシュヨウマメ)、*Cajanus cajan* (キマメ) を 2007 年より栽培している。いずれもマメ科であり、窒素固定による土壌肥沃度の向上が期待される。高さや基部直径の測定のほか、生育状態を目視により観察したが、特に目立った生育の遅滞は認められなかった。さらに、当試験を実施している村の農民のほか、近隣村の村長 10 名程度、チーフ代理、改良普及員を招いて圃場試験の様子を公開した。キマメに興味を持った村長が多く、後日収穫したキマメの種子を参加した村長数名に配布した。